

岐阜県家庭教育学級実践事例

体験活動参加型・在宅取組型（中学校）

学 校 名 等	養老町立高田中学校
実 施 日 時	① 令和6年10月9日（水） ② 冬休み期間
会 場	① 熱田神宮周辺、名古屋港防災センター ②各家庭
参 加 人 数	① 24名 ② 324名
学習課題（分野）	保護者同士のつながりを深めるとともに、防災について考える
運営者の願い	① 今年度は、視察研修を復活した。コロナ禍で希薄になっている保護者同士のつながりやコミュニケーションの場を増やすとともに、防災について学ぶことを目的に企画した。 ② ①を受けて、家庭での防災について考える機会となること目的に、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動に関わらせて実施した。

学 習 の 内 容

① バスレク、昼食ビュッフェ、防災体験

- ・ コロナ明け後、初の視察研修を行った。熱田神宮を参拝し、9月にオープンした施設を散策しました。また、昼食はホテルでランチビュッフェをいただいた。移動のバスの中では、ビンゴゲームを行い、常に和気あいあいと会話が途切れることなく、大いに盛り上がった。
- ・ 名古屋港防災センターで地震と火災時の煙体験、伊勢湾台風のVTRを視聴した。



<参加者の感想より>

- ・ 久しぶりのバスでの研修は、買い物や食事をして、会話が弾み、とても楽しい充実した時間を過ごすことができました。
- ・ 実際にあった過去の地震を体験し、身動きができませんでした。本当だったら・・・と思うと、とても恐ろしくなりました。貴重な経験ができました。



② 「話そう！語ろう！わが家の約束」

- ・ 冬休み期間を利用し、「話そう！語ろう！わが家の約束」防災意識向上週間を行った。取組方法としては、7つの項目を家族で確認し、実践したら実践カードに○を記入する。1年前に起きた能登半島地震を教訓とし、少しでも家族で防災について考える機会になればという思いから企画した。

<保護者の感想より>

- ・ 防災について見直すきっかけになりました。年末の大掃除のついでに落下しそうなものを確認し、撤去しました。家族で話す大事な内容だなと改めて思いました。
- ・ 家の中を点検してみると、意外に危険な家具や場所があって、もしも地震が来たら・・・とヒヤリとしました。取り組んでよかったです。
- ・ 非常食の日付を確認して、いくつかの入れ替えをしました。他にも、もう一度新しい行動計画を家族みんなで話し合いました。

高田中学校 防災意識を高めよう！

「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カード
Winter Vacation

【参加期間】
令和6年12月27日（金）～令和7年1月6日（月）
（上記期間中の都合のよい日曜（遅くても実施できなくても構いません））

【参加方法】
下記の内容を1日1つずつ確認や作業をしています。
それが出来たら、実践カードに目にもと○を記入していきます。

① 家族の非常食の日付を確認し、必要に応じて消費期限のないものを買い換える。
② 非常食が消費期限切れに近づいたら買い換える。
③ 地震の備え、家のなかの落下しそうなものを確認する。
④ 3日分の水と非常食の備え（非常食は必ず）をする。
⑤ 非常食の出し入れの手順を確認する。
⑥ 非常食の備えを確認し、非常食の備えを確認する。

家族で実践した記録をつけよう！

月	日	1	2	3	4	5	6
確認							
実践							
記入							

★ぜひ、実践した感想をお寄せください。



保護者同士のつながり、コミュニケーションの場

今年度は、コロナ禍で休止していたバス移動を伴う視察研修を企画した。この研修を通して、同じ学校へ通う子をもつ親が集うことで、新たなつながりができた。観光地や体験活動を行うことで、希薄になっている保護者同士のつながりを深めた。笑い声が絶えず、和気あいあいとした雰囲気での研修となった。



視察研修とつながりのある計画

昨年1月の能登半島地震を受け、家庭教育学級で、家庭での防災を考える機会となるよう計画を立てた。視察研修で災害について疑似体験し、冬休みを利用して家庭での防災意識を高められるよう企画し、家族で話し合う機会となった。

